

東京社保協ニュース

東京社会保険推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

国保の現状と改善の課題

協会けんぽの2倍を超える保険料に

40代夫婦で片働き・給与年収400万円、子どもが2人の4人世帯の場合、協会けんぽだと年間保険料23万7252円（本人負担分・2019年4月から）なのに対して、国保は江戸川区で51万7043円（所得の19.44%）と2.2倍にもなります。

2019年度の保険料は区市町村の内、引き下げは千代田区と小金井市のみ、据え置きは14市2町1村で、率で35.5%に留まっています。江戸川区の試算例で、所得割額27万2843円に対し、均等割額が24万4200円です。国保も収入ベースで保険料を決めれば、協会けんぽに近づきます。

40代夫婦と子ども1人の3人世帯の場合 (給与収入、妻・子どもは収入無し)

年収(所得) (円)	2019年度 国保料(円)	所得に占める 国保料(%)	備考
200万(122万)	257,099	21.07	法定2割軽減
250万(157万)	298,084	18.99	
270万(171万)	314,478	18.39	
300万(192万)	377,289	19.65	
400万(266万)	463,943	17.44	

※3人世帯の場合、世帯所得186万円未満が法定2割軽減の対象になる。

給与収入300万円(所得192万円)で家族人数別の 国保料(40代、1人の収入の場合)

	2019年度 国保料(円)	所得に占める 国保料(%)	備考
単身世帯	255,189	13.29	法定2割軽減
2人(夫婦)	324,189	16.88	
3人(夫婦と子1人)	377,289	19.65	
4人(夫婦と子2人)	381,229	19.86	
5人(夫婦と子3人)	424,029	22.08	

※どちらの表も江戸川区の料率で試算している

容赦のない差押え

23区は2011年度に「住民税方式」から「旧ただし書き方式」に所得の把握方法が変更され、11年と19年を比較すると11万円以上の負担増です。所得に占める保険料負担率は15.2

8%から19.44%と世帯所得の約2割です。高すぎる保険料により、滞納せざるを得ない状況が広がっています。

滞納率は2018年度で全国平均で、14.5%ですが、東京全体では22.3%と全国1位、23区は25.6%とさらに深刻です。滞納世帯数は、48万7千世帯、差押え件数は4万394件で14年度と比べて1万8892件も増えています。金額では、86億9558万円余で14年度比10億6154万円余増えています。一方で、1件当たりの差押え額は21万5千円で14年度比マイナス13万9千円になり、少額の滞納でも容赦なく差押えが行われていることが伺えます。

「差押えで交付金」を止めさせた

「東京都国民健康保険特別調整交付金」の中に「収納率向上の取り組み成績良好」という基準があり、具体的算定項目に「滞納処分部門として、差押え件数、差押え率、資格証明書発行割合」が2005年から設けられ、500件以上の差押えで最大4千万円の交付、資格書発行率10%以上で最大1千500万円交付など、自治体を差し押えに駆り立てる基準が続けられてきました。

社保協では毎回の対都要請で廃止を求めてきましたし、共産党都議団も議会で取り上げてきました。2018年2月1日の予算委員会で日本共産党の倉林明子参議員がこの問題を取り上げるなど東京都を追い込んできました。結果、18年11月に「滞納処分部門」を算定項目から削除させました。
(2ページに続く)

東京の滞納・差押えの現状

		国保加入	滞納	滞納率	差押え	滞納世帯	差押え額(円)	1件当たり
		世帯数	世帯数	(%)	件数	に対する差押え		の差押え額(円)
2018年度	総合計	2,185,514	487,424	22.30	40,394	8.29	8,695,584,132	215,269
	23区計	1,553,147	398,243	25.64	18,103	4.55	4,925,148,276	272,063
	26市計	616,722	86,073	13.96	21,996	25.55	3,651,550,312	166,010
	町村計	15,645	3,108	19.87	295	9.49	118,885,544	403,002

各地域・団体の取り組み

保険料引き下げが求められる

※子育て支援…①子どもの国保料軽減、②ひとり親世帯の国保料軽減（親子とも）、③就学援助対象世帯の国保料軽減

※低所得世帯支援…①所得控除をせめて住民税並みに行う（配偶者控除、扶養控除、障害者控除など）、②法定軽減世帯の対象を広げる、③1割軽減や3割軽減を新設する、④住民税非課税世帯には所得割を賦課しない。

（事務局長 寺川慎二）

八王子社保協



八王子社保協は、2019年度総会を6月15日（土）に開催し、11団体・個人あわせて23人が参加しました。

総会は、東京社保協相川事務局次長が来賓あいさつを行い、社会保障をめぐる厳しい情勢の中で、地域で社会保障を守る運動の果たす役割が大きいこと、これからも東京社保協等とともに国保料を引き下げたたかいなどを共に進めて行きたいと訴えました。

活動のまとめでは、2018年度の取り組みの中心に位置づけた国民健康保険の子ども均等割額等の軽減を求める運動について紹介されるとともに、10月に取り組んだ「なんでも相談会」の相談内容を見ると、市民をめぐる厳しい情勢などが反映していることなどが強調されました。

2019年度の方針では、この間の国民健康保険料の引き下げを求める運動をもとに「市長への要望書」の提出を6月19日に行うことが提案されました。その他、国保料の引き下げ運動を、社会保障を守る運動の根幹として重視し取り組むことをはじめ、20年目を迎える介護保険制度の改善に向けての取り組み、「なんでも相談会」の実施、八王子総行動に結集して社会保障分野の課題での要求提出と当日の交渉参加などが提案されました。

討議では、八王子市の人口動態や市に対する市民の要求と八王子市の財政状況などの資料紹介や、消費税の引き上げを阻止する運動の重要性、介護をめぐる情勢、子どもの貧困の実態などが報告されました。総会は、すべての議案を確認し、2019年度の幹事体制などを決定し終了しました。

（事務局 河内 光久）

江戸川社保協



6月9日、江戸川社保協は第23回定期総会を開催し95人が参加しました。

前段の総会では、総会議案・決算報告・会計監査報告・予算案・体制案が全て承認され、新年度体制がスタートしました。

後半の総会記念学習会は、昨年に引き続きNPO法人医療制度研究会副理事長の本田宏先生に講演をお願いしました。今回は「どうなる介護保険」をテーマに、社会保障全体の課題・問題点を、笑も交えてお話しいただき大変好評でした。

終了後の役員懇親会では、「現在、年1回総会と併せて行っている学習会の他に、別途学習会を開催したい」「制度政策の堅い話だけでなく健康増進などのテーマでの学習も良いのでは」「引き続き本田先生をお願いしたい」など、前向きな意見が多く出されました。

（江戸川社保協 中村安彦事務局長）

消費税増税ストップキャラバン宣伝



6月7日（金）降雨の中、消費税廃止東京各界連は、北千住駅、赤羽駅、大山駅でキャラバン宣伝行動を行いました。

北千住駅では、窪田光東京社保協事務局次長（東京民医連事務局次長）が弁士をつとめ、「消費税増税は庶民の生活を圧迫し、受診や介護の利用を控えたりすることになり、健康を脅かされる」「増税は、病院・診療所・介護事業所の経営も直撃する」ことを、具体的な金額をまじえて報告し、消費税増税中止を訴えました。引き続き、東京土建、新婦人などからも力強い訴えが行われました。

「増税ありえないティッシュ」は好評で、雨天にもかかわらず、北千住駅前では20人の方が署名に協力してくれました。

北区社保協

北区なんでも相談会実行委員会は5月28日、なんでも相談会を開催。



相談では、ご近所トラブルの相談が2件続きました。終了後の振り返りでは、弁護士や不動産業の経験のある土建の相談員から、「高齢者同士のトラブルが増えている」「弁護士に相談が来る場合は相当な困難になっている」「迷惑をかけている側に自覚が無い」「被害を受けている側が引越すしかない」という傾向が明らかになりました。なんでも相談会実行委員会は、今回の相談事例を持って、豊島町の普段付き合いのある不動産屋さんを訪問し連携を申し入れました。

この相談会では4件の相談があり、参加者は相談員10人、要員17人通訳1人（中国語）でした。

（相談会ニュースより）



「社会保障」誌の購読を

「資料と解説」が豊富で、激動する情勢や社会保障制度がよくわかる！役に立つ！
学習や運動にぜひご購読を

- 定期購読（年6回）
3000円（送料別）
1部500円（送料別）
- 申込みは東京社保協へ
TEL03-5395-3165
FAX03-3946-6823
- *ホームページからも注文できます



「4の日」宣伝行動



6月14日（金）、巣鴨駅前で「4の日」宣伝行動を、12時から1時間実施しました。

当日は、強い日差しが照りつける中、各団体から参加して弁士が交互に訴えを行いました。

おりしも『老後は年金に加えて2千万円が必要』との金融庁の報告者が問題になってから初めての14日の年金支給日と重なり、「でたらめばかり、何を考えているんだ。年金で困っている人のことを考えろ」「麻生にアホと言いたい。老後の保障どうにかして」「暮らしを良くして下さい。保険料が高すぎる」「老々介護で大変。なんとかして。介護サービスが利用できない」など、署名に応えながら怒りの声が相次ぎました。



この行動には、全体で39人、その内東京から27人（土建20人）が参加し、25条署名56筆、消費税ストップ署名6筆、署名付きティッシュを約2800個配布しました。

「4の日」定例宣伝行動

- ・8月14日（水）11時～12時
巣鴨駅
- ・9月14日（土）11時～13時
巣鴨地蔵通り商店街入口

主催：東京社保協・中央社保協

第47回中央社保学校

- 8月29日（木）13時半～31日（土）12時まで
会場：石川県教育会館3階ホール他
29日：学習講演、講師：小森陽一氏他
30日：テーマ別分科会、貧困問題シンポジウム
31日：市民公開講座、齊藤貴男氏

主催：中央社保協

滞納差押えホットライン

8月25日（日）10時～
＜フリーダイヤル＞
0120-110-458

ホットライン実行委員会

東京社保学校

11月10日（日）10時～
けんせつプラザ東京

主催：東京社保協